

◆セルフトレーニング問題2025◆

■ 問 題 ■

問題 1 前立腺がんに関する以下の記述につき、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 前立腺がん家族歴を有する場合は40歳台から PSA を測定することが望ましい。
- (b) 検診で発見された前立腺がんと、症状発現を契機に発見された前立腺がんでは前者の生存率が良好とする報告が多い。
- (c) 57歳で PSA 値が3.37ng/mL であったが、泌尿器科専門医への受診を勧めた。
- (d) 62歳で PSA 値が0.71ng/mL であったが、来年の PSA 測定は勧めなかった。
- (e) PSA 検診を基盤とした検診の実施により前立腺がん死亡率が低下することを証明した研究は世界に存在しない。

問題 2 検査前確率（事前確率）が変わると変化するのはどれか。1つ選べ。

- (a) 感度
- (b) 特異度
- (c) 適中度（的中度）
- (d) 偽陰性率
- (e) ROC 曲線

問題 3 MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）について、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 肝臓の脂肪蓄積と炎症や線維化が認められる状態である。
- (b) MASLD（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）のうち肝癌のリスクが高いものである。
- (c) 肝生検で肝炎や線維化の所見を確認する必要がある。
- (d) 肝線維化を評価する血液バイオマーカーや画像診断法がある。
- (e) いくつかの遺伝子異常が関与している。

問題 4 治療可能な認知症について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 慢性硬膜下血腫
- (b) 甲状腺機能低下症
- (c) 正常圧水頭症
- (d) ビタミン B6欠乏症
- (e) 両側視床梗塞

問題 5 呼吸リハビリテーションについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の呼吸困難の軽減には効果が乏しい。
- (b) COPD の運動耐容能の改善には寄与しない。
- (c) 健康関連の生活の質（HRQoL）の改善には有効性が示されていない。
- (d) 薬物療法や酸素療法などの他の治療に加えての上乗せ効果が得られる。
- (e) 身体活動レベルを高めることが重要である。

問題 6 糖尿病網膜症の眼底所見として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 銀線動脈
- (b) 点状出血
- (c) 軟性白斑
- (d) 新生血管
- (e) 硝子体出血

問題 7 骨粗鬆症を合併する頻度の高い疾患として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 多発性骨髄腫
- (b) クッシング症候群
- (c) 心房細動
- (d) 関節リウマチ
- (e) 原発性胆汁性胆管炎

問題 8 心血管疾患の危険因子ではないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 持続性蛋白尿
- (b) 血尿
- (c) 脂質異常症
- (d) 糸球体濾過量の低下
- (e) 喫煙

問題 9 尿中ヘモジデリンが見られないのはどれか。2つ選べ。

- (a) 遺伝性球状赤血球症
- (b) 溶血性尿毒症症候群
- (c) 自己免疫性溶血性貧血
- (d) 血栓性血小板減少性紫斑病
- (e) 発作性夜間ヘモグロビン尿症

問題10 バレニクリンについて正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 他の禁煙補助薬との併用が可能である。
- (b) 小児に対する安全性が確立されている。
- (c) 腎機能障害時に用量調節の必要はない。
- (d) 妊娠中の投与に関する安全性が確立されている。
- (e) 服用中は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。

問題11 子宮頸がんについて誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) ヒトパピローマウイルス（HPV）が危険因子である。
- (b) HPV 感染はSEX を介して行われるが、感染することはまれな現象である。
- (c) HPV はウイルス血症を呈することがないため、HPV 抗体の検出は難しい。
- (d) HPV ワクチン接種によりすべてのハイリスク HPV 感染の予防が可能である。
- (e) HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種を最も推奨されるのは10～14歳の女性である。

問題12 純音聴力検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 他覚的検査法である。
- (b) 気導聴力と骨導聴力を測定する。
- (c) 伝音難聴と感音難聴の鑑別ができる。
- (d) 正常聴力レベルは0～30dBHL である。
- (e) 20Hz から順次高い周波数に検査を進める。

問題13 骨形成マーカーはどれか。2つ選べ。

- (a) デオキシピリジノリン（DPD）
- (b) 骨型アルカリホスファターゼ（BAP）
- (c) I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド（NTX）
- (d) I型プロコラーゲン-N-プロペプチド（PINP）
- (e) 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ（TRACP-5b）

問題14 発達障害について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) コミュニケーションをとるのが苦手である。
- (b) うつ状態や不安は伴わない。
- (c) 仕事に適・不適があることが多い。
- (d) その発症には環境要因の影響が大きい。
- (e) 小児期に診断されることが多い。

問題15 循環器系・心臓について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 大動脈弁は、3枚の弁尖からなる。
- (b) 3本の冠状動脈が、大動脈から分岐する。
- (c) 1回拍出量は、右心室よりも左心室が多い。
- (d) 成人の安静時心拍出量は、約10L/分である。
- (e) ANP（心房性ナトリウム利尿ペプチド）は、血管を収縮させる。

問題16 肝臓の限局性病変とその特徴的な超音波画像所見の組み合わせについて、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 肝細胞癌：モザイクパターン
- (b) 転移性肝腫瘍：クラスターサイン
- (c) 肝血管腫：マージナルストロングエコー
- (d) 限局性結節性過形成：スポークウイールパターン
- (e) 肝内胆管細胞癌：バスケットパターン

問題17 リウマチ性疾患の中で、多発性筋炎・皮膚筋炎のほかに、一般的に悪性腫瘍の合併に注意すべき疾患はどれか。2つ選べ。

- (a) 線維筋痛症
- (b) RS3PE 症候群
- (c) 眼型ベーチェット病
- (d) 全身性エリテマトーデス
- (e) IgG4関連疾患

問題18 労働形態と健康障害の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 重量物取扱い作業 — 職業性頸肩腕障害
- (b) 潜水作業 — 低酸素血症
- (c) 中腰作業 — 職業性腰痛
- (d) 道路建設 — 熱中症
- (e) 情報機器作業 — 白内障

問題19 遺伝性大腸がんについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 遺伝性大腸がんのうちで最も頻度が高いのはリンチ症候群である。
- (b) 100個以上の大腸腺腫を認める場合、家族性大腸腺腫症（FAP）に該当する。
- (c) リンチ症候群の女性は、膀胱がんを大腸がんと同程度に発症する。
- (d) FAP は、常染色体潜性遺伝形成をとる。
- (e) FAP は、予防的大腸切除が適応にはならない。

問題20 家族性高コレステロール血症（Familial hypercholesterolemia, FH）について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 未治療の LDL コレステロールが185mg/dL であり母親が64歳で心筋梗塞発症していた場合には家族性高コレステロール血症と診断できる。
- (b) 家族性高コレステロール血症の診断基準には、腱黄色腫、皮膚結節性黄色腫および眼瞼黄色腫が含まれる。
- (c) 家族性高コレステロール血症の関連遺伝子は LDLR, APOB, PCSK9などであり、遺伝子検査は保険収載された。
- (d) 家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体患者は200-500人に1人いると推定されており、冠動脈疾患リスクは臨床症状が乏しくても健常人の3倍以上と報告されている。
- (e) 家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体患者の治療には高容量スタチン、エゼチミブ、PCSK9阻害薬などが使用される。家族性高コレステロール血症ホモ接合体患者の治療には薬物療法はなく LDL アフェレーシスが施行される。

問題21 肺非結核性抗酸菌症について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 進行は早く、速やかに治療を開始する必要がある。
- (b) 診断には、喀痰培養で陽性が、2回以上認めることが診断に必要である。
- (c) 痰が出ない場合は気管支鏡検査をすることもある。
- (d) 治療は、クラリスロマイシンと抗結核薬を少なくとも1年半続ける必要がある。
- (e) 治療により完全に菌が消えることが多い。

問題22 次のうち、誤っている組合せはどれか。1つ選べ。

- (a) ニュールンベルク倫理綱領 …… セカンドオピニオン
- (b) ジュネーブ宣言 …… 人命の尊重
- (c) リスボン宣言 …… 自己決定権
- (d) 刑 法 …… 守秘義務
- (e) ヘルシンキ宣言 …… 臨床研究の倫理

問題23 腎疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 慢性腎不全では、低リン血症がみられる。
- (b) 出血性ショックは、腎性の急性腎障害（AKI）の原因になる。
- (c) 末期腎不全の合併症として、二次性副甲状腺機能低下症がある。
- (d) 急性糸球体腎炎の多くは、A 群 β 溶血性連鎖球菌感染が関与する。
- (e) 糸球体濾過量（GFR）は、ネフローゼ症候群の診断基準に含まれる。

問題24 メタボリックシンドローム改善のための身体活動について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 運動強度が高いほど減量効果大きい。
- (b) 家事程度の身体活動でも減量効果はある。
- (c) 身体活動の増加は副作用や悪影響がない安全な介入方法である。
- (d) BMI が 30kg/m^2 を超える肥満者には身体活動増加による減量は勧められない。
- (e) メタボリックシンドロームは身体活動を増加させるだけでは改善できない。

問題25 マンモグラフィ検査における乳房構成に関する記載で誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 脂肪性
- (b) 高濃度
- (c) 乳腺散在
- (d) 不均一高濃度
- (e) 極めて高濃度